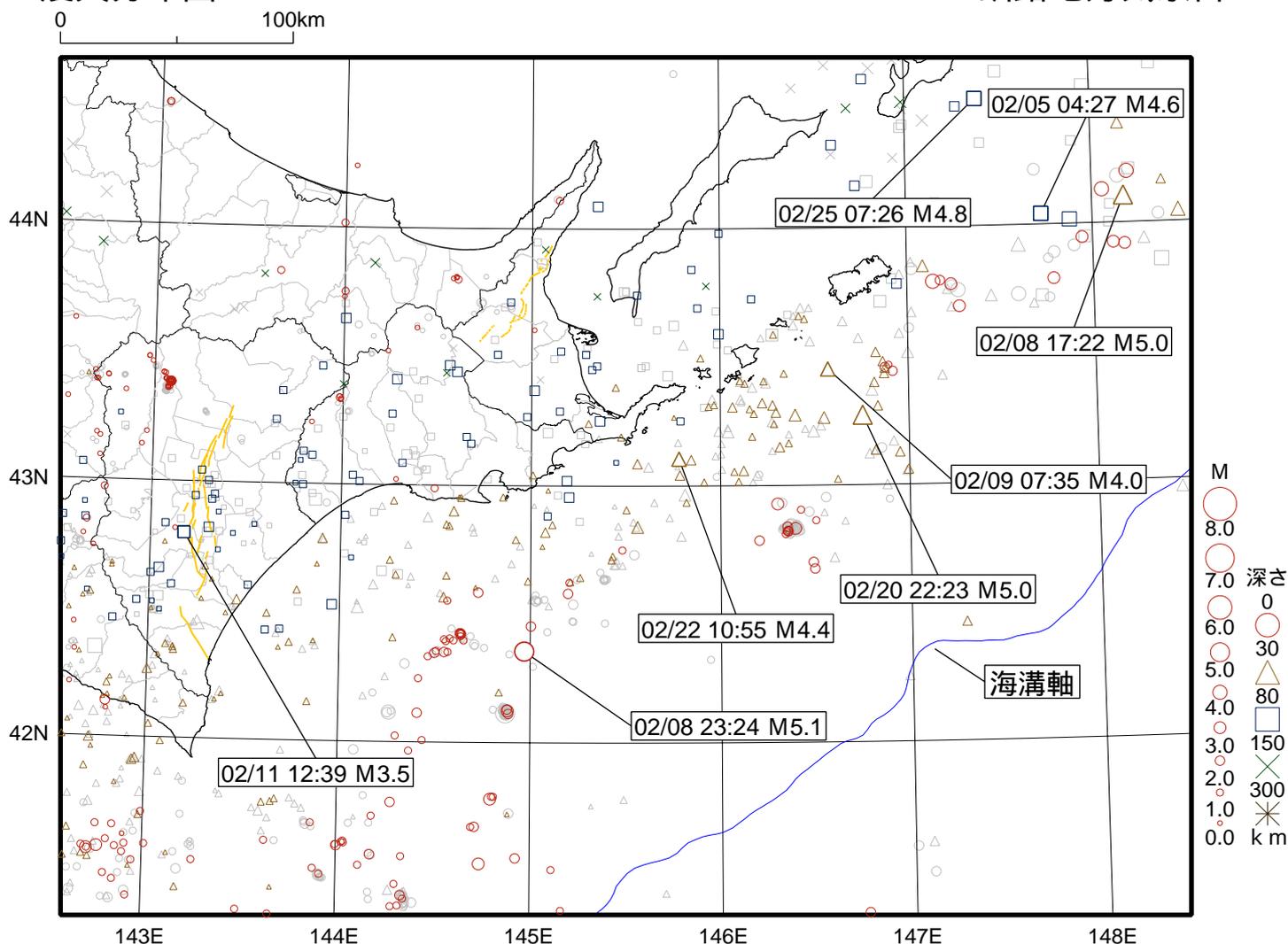


釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2021年2月1日～2021年2月28日

震央分布図

釧路地方気象台



地震概況（2021年2月）

この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は10回（1月は12回）で主な地震は次のとおりです（詳細は「釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表」を参照）。

13日23時07分、福島県沖を震源とする地震(M7.3、深さ55km、震央分布図の範囲外)により、釧路市(阿寒・音別)、帯広市、音更町、浦幌町、大樹町、更別村で震度3を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度2～1を観測しました。

20日22時23分、北海道東方沖を震源とする地震(M5.0、深さ68km)により、根室市で震度3を観測したほか、釧路・根室地方で震度2～1を観測しました。

22日10時55分、根室半島南東沖を震源とする地震(M4.4、深さ50km)により、根室市で震度3を観測したほか、釧路・根室地方で震度2～1を観測しました。

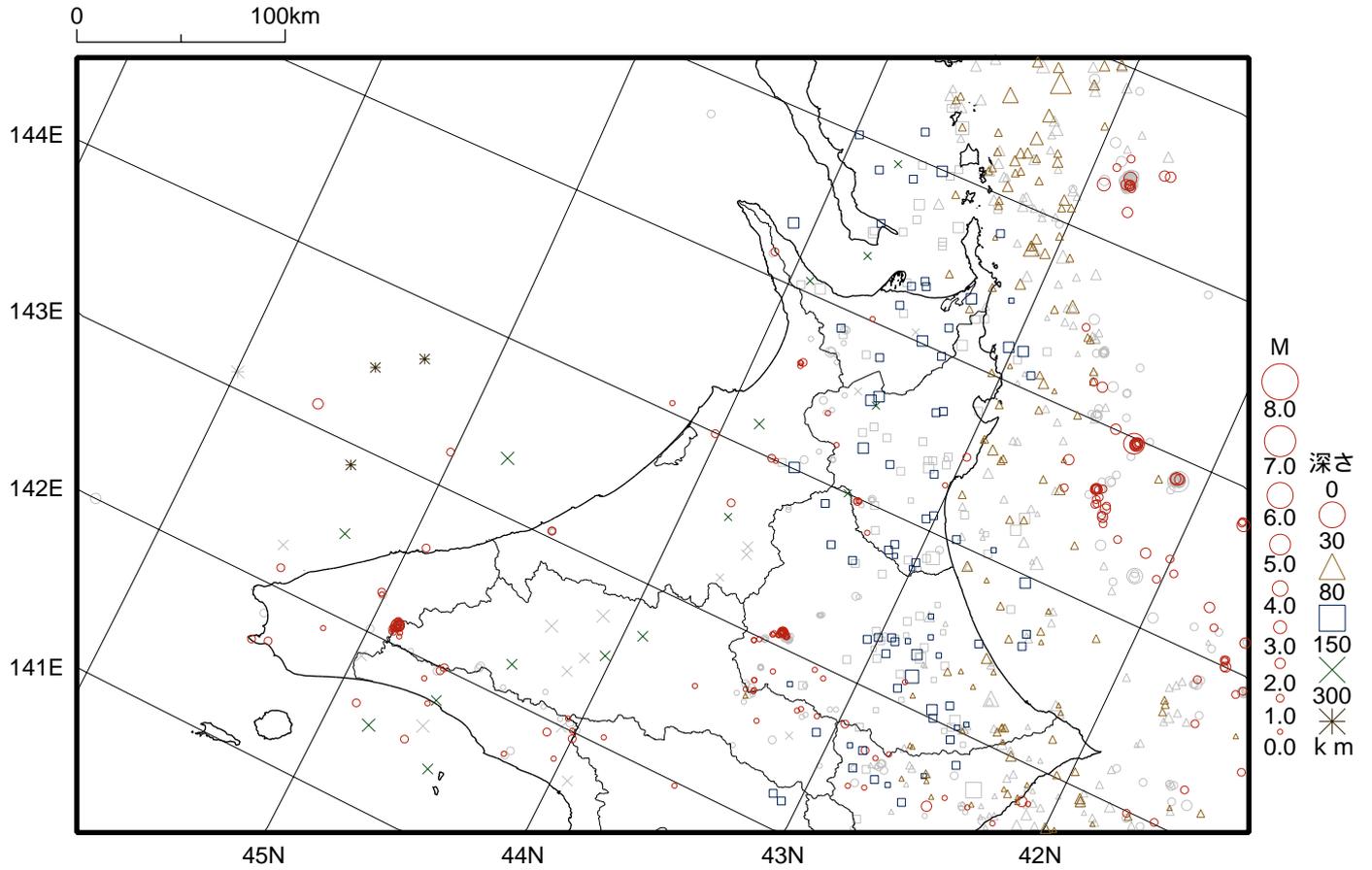
この活動図は、釧路地方気象台のホームページに掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/kushiro/bosai/earthquake/earthquake_data.html

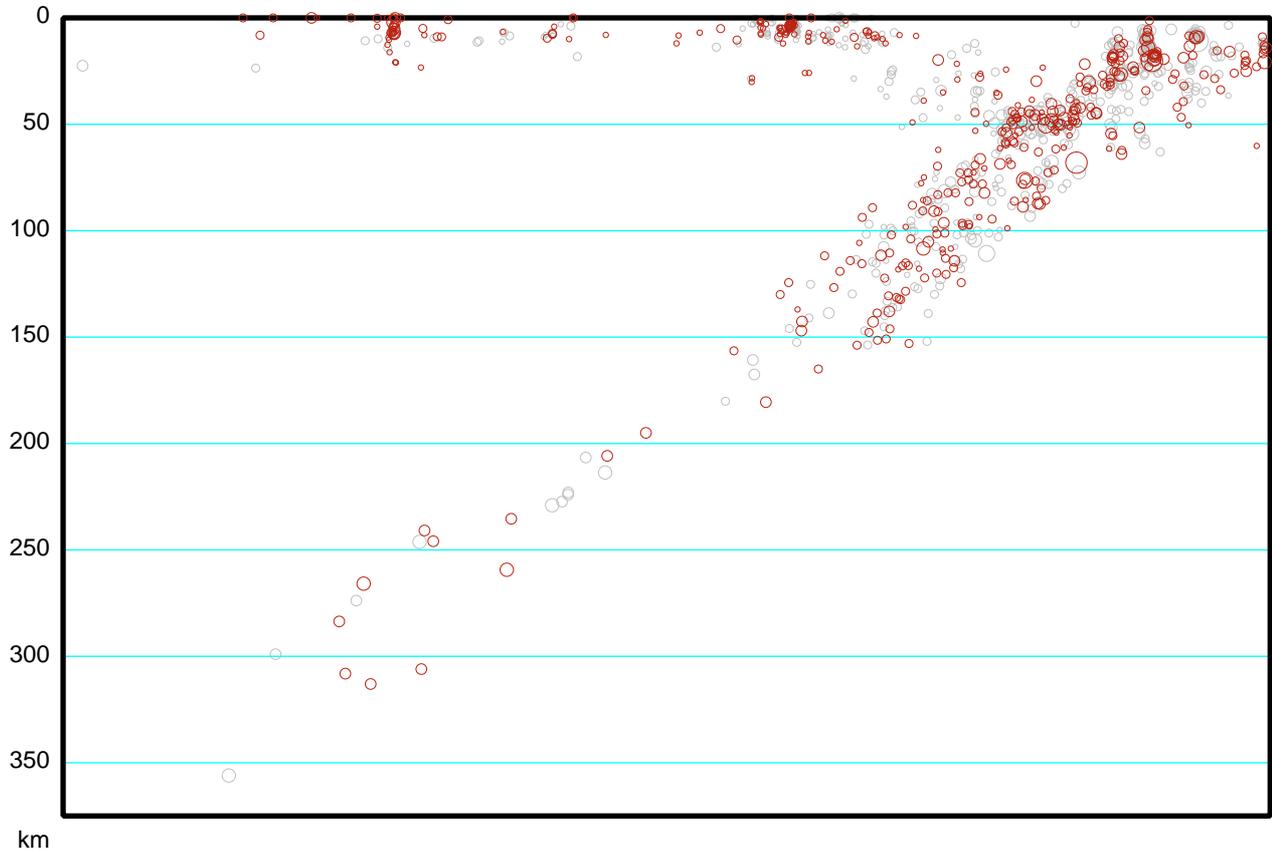
この資料に関する問い合わせ先 釧路地方気象台 TEL 0154-31-5110

2021年2月1日 ~ 2021年2月28日

震央分布図



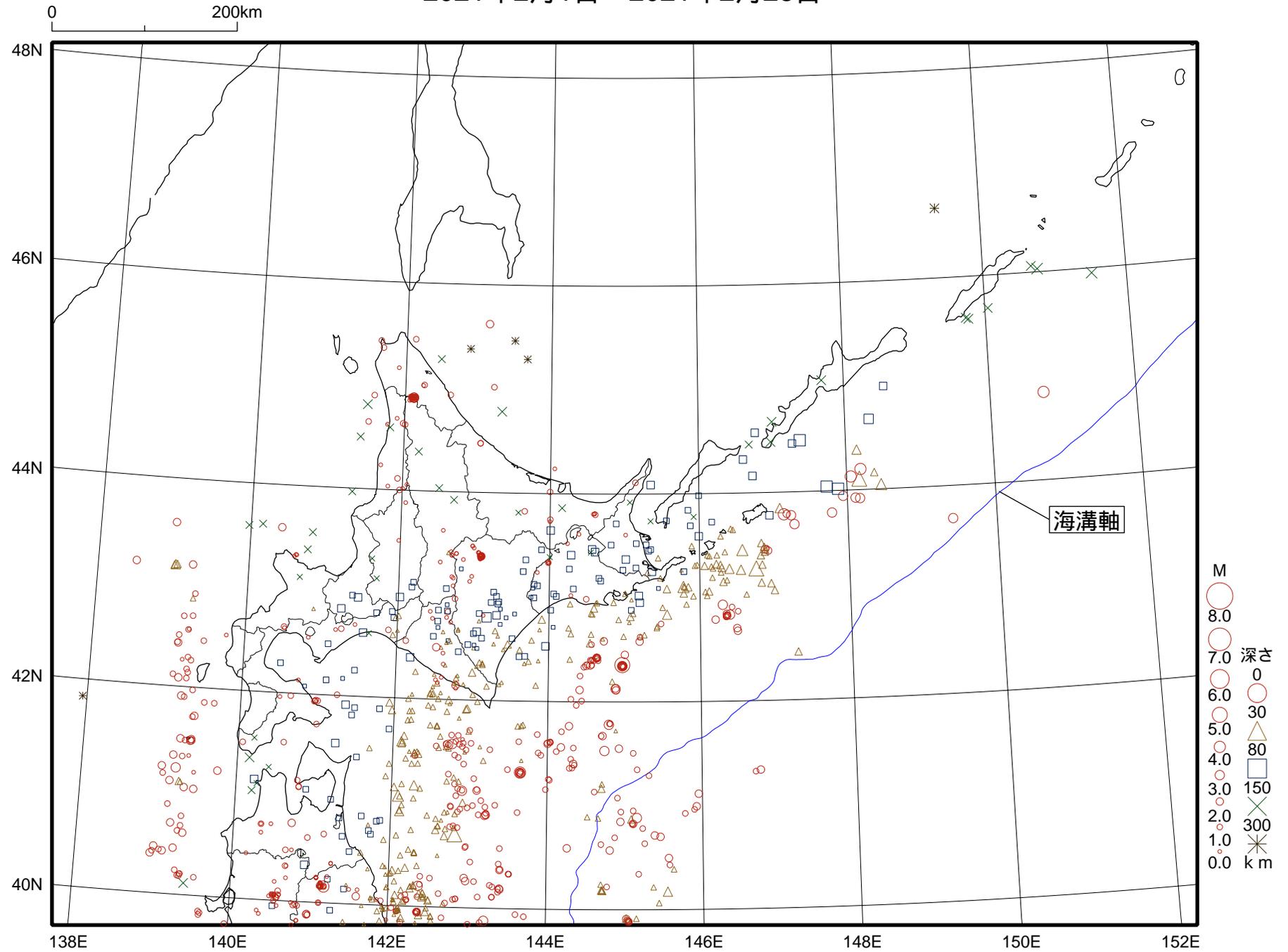
断面図



北海道の地震活動図

2021年2月1日 ~ 2021年2月28日

震央分布図



釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表(2021年2月)

年月日 地方	時分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯(N)	東経(E)	深さ(km)	規模(M)
2021年 2月 5日 根室地方	04時27分 震度1	北海道東方沖 根室市牧の内*(05) 根室市落石東*(08) 根室市瑛瑠瑠*(06)	44°02.4 N	147°43.5 E	93 km	M4.6
2021年 2月 8日 根室地方	17時22分 震度1	択捉島南東沖 根室市落石東*(05)	44°06.2 N	148°10.1 E	44 km	M5.0
2021年 2月 8日 釧路地方	23時24分 震度2 震度1	釧路沖 釧路市黒金町*(17) 厚岸町真栄*(20) 白糠町西1条*(16) 弟子屈町美里(05) 弟子屈町弟子屈*(08) 釧路市幸町(12) 釧路市阿寒町中央*(10) 釧路市音別町中園*(12) 釧路町別保*(13) 厚岸町尾幌(11) 浜中町湯沸(11) 浜中町茶内*(14) 標茶町川上*(10) 鶴居村鶴居東*(05) 根室市厚床*(15)	42°21.3 N	144°58.1 E	20 km	M5.1
根室地方	震度2 震度1	中標津町養老牛(05) 中標津町丸山*(06) 標津町北2条*(12) 別海町常盤(13) 別海町西春別*(12) 別海町本別海*(09) 根室市落石東*(12) 根室市瑛瑠瑠*(08)				
十勝地方	震度1	新得町2条*(09) 十勝清水町南4条(05) 本別町北2丁目(06) 中札内村東2条*(06) 十勝大樹町東本通*(05) 十勝大樹町生花*(11)				
2021年 2月 9日 根室地方	07時35分 震度2 震度1	北海道東方沖 根室市落石東*(21) 中標津町丸山*(08) 別海町常盤(08) 別海町本別海*(07) 根室市牧の内*(09) 根室市厚床*(05) 根室市瑛瑠瑠*(13)	43°27.0 N	146°34.3 E	76 km	M4.0
2021年 2月11日 十勝地方	12時39分 震度1	十勝地方中部 浦幌町桜町*(12) 十勝大樹町生花*(09)	42°47.9 N	143°10.5 E	108 km	M3.5
2021年 2月13日 十勝地方	23時07分 震度3 震度2 震度1	福島県沖 帯広市東4条(28) 帯広市東6条*(27) 音更町元町*(27) 浦幌町桜町*(26) 更別村更別*(25) 十勝大樹町東本通*(27) 上土幌町清水谷*(17) 上土幌町上土幌*(18) 鹿追町東町*(23) 新得町2条*(21) 足寄町上螺湾(16) 足寄町南1条*(17) 土幌町土幌*(20) 十勝清水町南4条(23) 幕別町忠類錦町*(22) 幕別町本町*(21) 十勝池田町西1条*(20) 豊頃町茂岩本町*(21) 本別町北2丁目(17) 本別町向陽町*(17) 中札内村東2条*(21) 十勝大樹町生花*(18) 広尾町並木通(15) 新得町トムラウシ*(11) 陸別町陸別*(09) 幕別町忠類明和(11) 広尾町白樺通(14)	37°43.7 N	141°41.9 E	55 km	M7.3
釧路地方	震度3 震度2	釧路市阿寒町阿寒湖温泉*(25) 釧路市音別町中園*(25) 弟子屈町美里(15) 弟子屈町弟子屈*(19) 釧路市幸町(18) 釧路市音別町尺別(15) 釧路市黒金町*(21) 釧路市阿寒町中央*(19) 釧路町別保*(21) 厚岸町真栄*(20) 標茶町川上*(16) 標茶町塘路*(20) 鶴居村鶴居東*(17) 白糠町西1条*(21)				
根室地方	震度1 震度2 震度1	弟子屈町サワンチサップ*(12) 厚岸町尾幌(13) 浜中町湯沸(14) 浜中町茶内*(13) 中標津町丸山*(19) 標津町北2条*(23) 羅臼町緑町*(15) 別海町常盤(21) 別海町西春別*(22) 別海町本別海*(20) 根室市牧の内*(15) 根室市厚床*(19) 根室市落石東*(20) 根室市瑛瑠瑠*(20) 中標津町養老牛(14) 標津町古多糠(13) 標津町薫別*(10) 羅臼町春日(07) 羅臼町岬町*(14) 根室市弥栄(10) 根室市豊里(07)				
2021年 2月20日 釧路地方	01時16分 震度1	青森県東方沖 白糠町西1条*(05)	40°42.3 N	142°49.4 E	34 km	M5.0
2021年 2月20日 根室地方	22時23分 震度3 震度2 震度1	北海道東方沖 根室市落石東*(25) 根室市瑛瑠瑠*(24) 中標津町養老牛(05) 中標津町丸山*(14) 標津町北2条*(13) 羅臼町緑町*(05) 羅臼町岬町*(09) 別海町常盤(13) 別海町本別海*(12) 根室市弥栄(06) 根室市豊里(08) 根室市牧の内*(11) 根室市厚床*(11)	43°16.2 N	146°45.2 E	68 km	M5.0
釧路地方	震度1	弟子屈町弟子屈*(05) 浜中町湯沸(08) 浜中町茶内*(09) 鶴居村鶴居東*(08) 白糠町西1条*(05)				
2021年 2月22日 根室地方	10時55分 震度3 震度2 震度1	根室半島南東沖 根室市落石東*(27) 中標津町丸山*(17) 標津町北2条*(22) 羅臼町岬町*(16) 別海町本別海*(19) 根室市牧の内*(20) 根室市厚床*(17) 根室市瑛瑠瑠*(24) 中標津町養老牛(09) 標津町薫別*(05) 羅臼町緑町*(08) 別海町常盤(10) 根室市弥栄(13) 根室市豊里(12)	43°06.2 N	145°46.8 E	50 km	M4.4
釧路地方	震度1	浜中町湯沸(11) 浜中町茶内*(10)				
2021年 2月25日 根室地方	07時26分 震度1	択捉島付近 別海町常盤(10) 根室市牧の内*(05) 根室市落石東*(11) 根室市瑛瑠瑠*(07)	44°29.6 N	147°22.8 E	150 km	M4.8

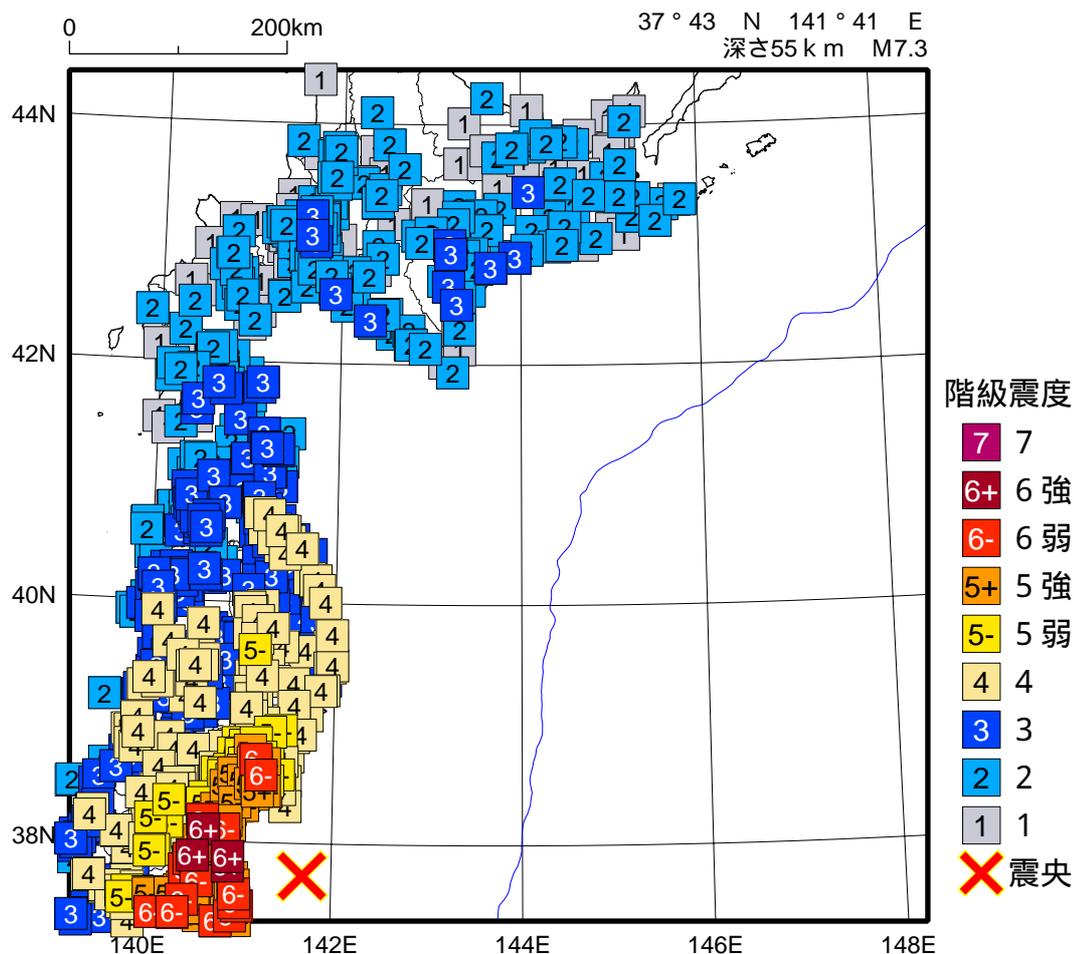
*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

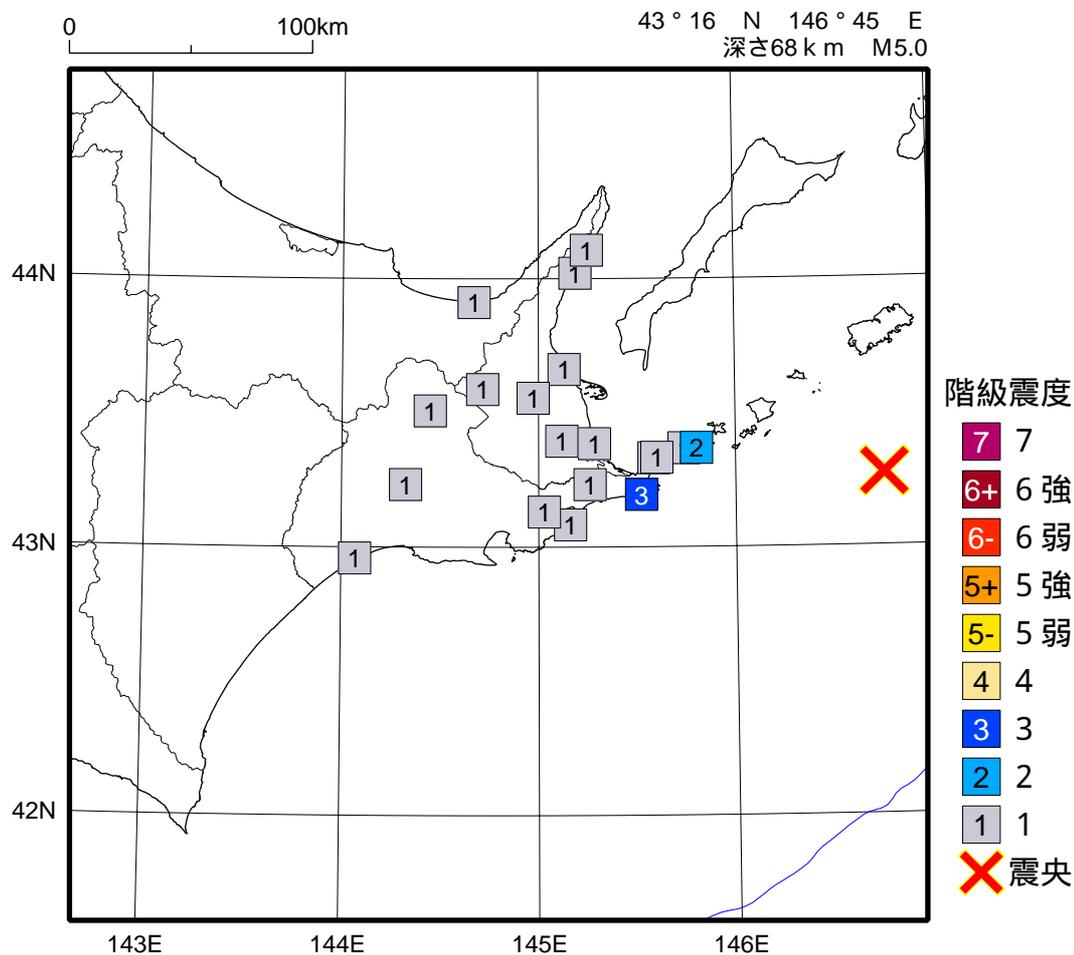
計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

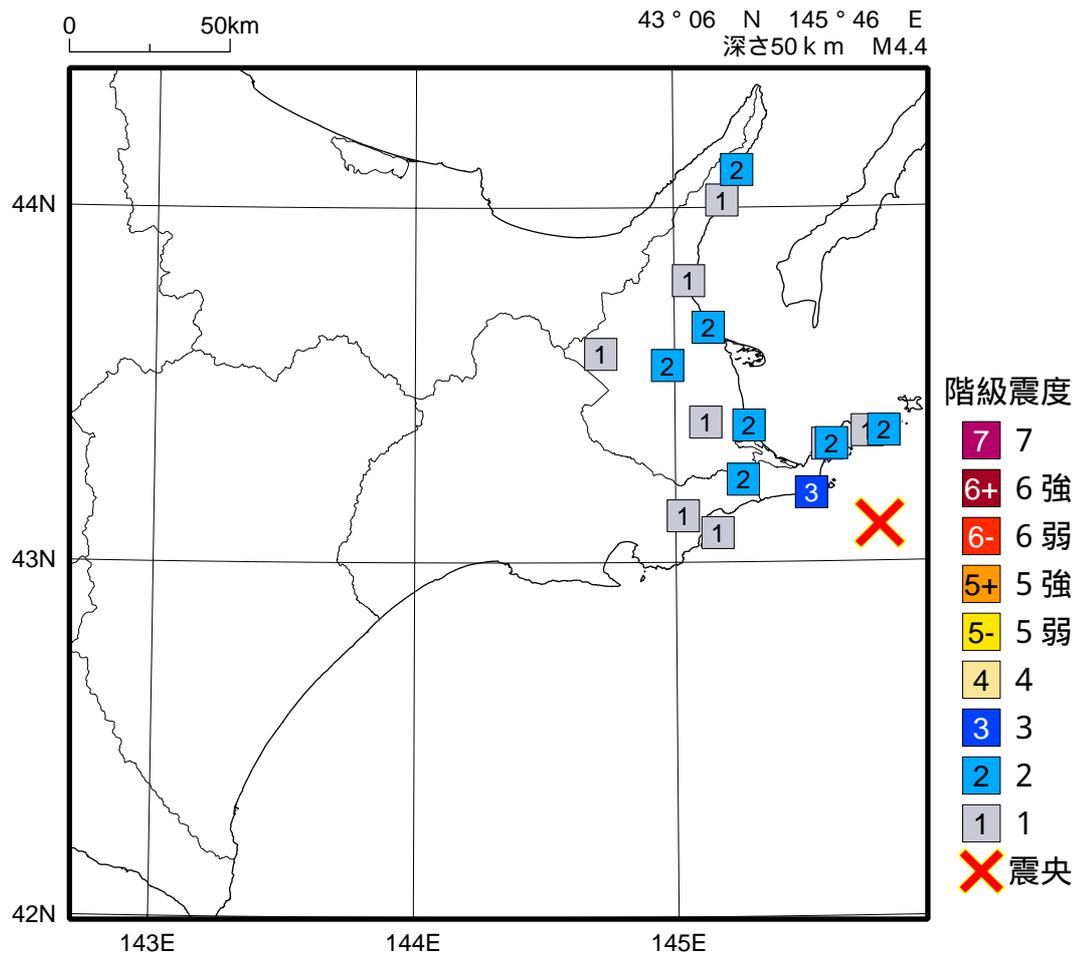
2021年 2月13日23時07分 福島県沖の地震の震度分布図



2021年 2月20日22時23分 北海道東方沖の地震の震度分布図



2021年 2月22日10時55分 根室半島南東沖の地震の震度分布図



本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 2020年4月18日から10月23日まで、及び2021年1月9日以降の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以外の期間と比較して微小な地震の震源決定数の変化が見られることがあります。
- ・ 2020年9月以降の地震は、それ以前と比較して、処理方法の違い等により、震源の見かけ上の位置や震源決定数に変化が見られることがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部による主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

【防災メモ】

～東日本大震災から10年～

今年の3月11日で東日本大震災から10年が経ちます。平成23年（2011年）3月11日14時46分に三陸沖で、地震の規模（マグニチュード）が9.0である国内観測史上最大の超巨大地震が発生しました。宮城県栗原市で震度7を観測したほか、北海道から九州までの広い範囲で震度6強～1の揺れを観測しました（図1）。気象庁は、この地震の名称を「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」と決めました。

この地震により発生した津波は日本沿岸各地で観測され（図2）、甚大な被害をもたらしました。犠牲者は19,729名（令和2年3月10日現在、総務省消防庁による）、死因のほとんどが津波に巻き込まれたことによる水死で、戦後最大の自然災害となりました。

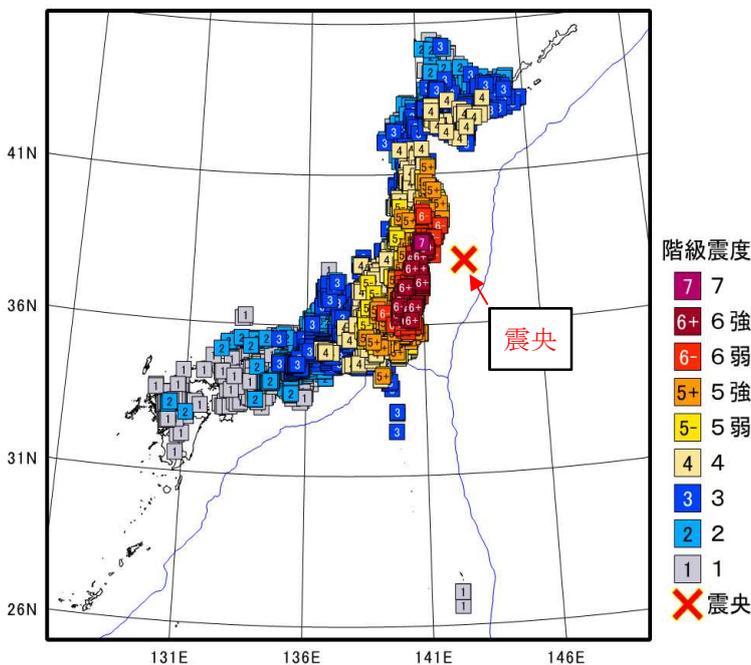


図1 震度分布図

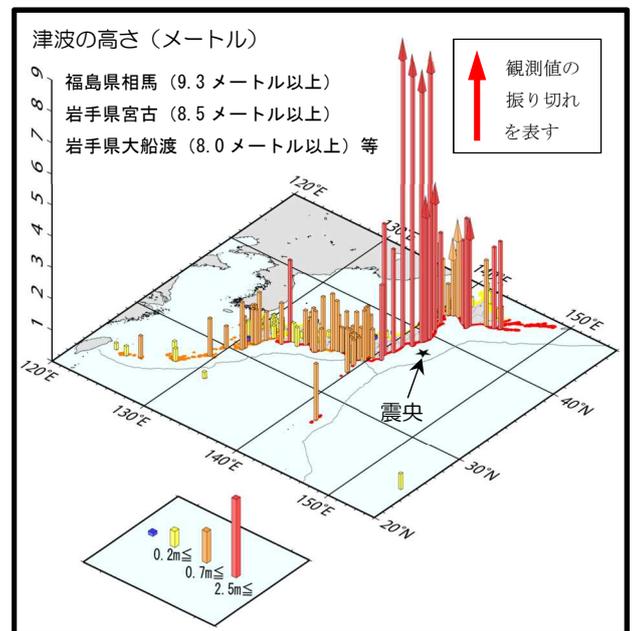


図2 日本沿岸で観測された津波の高さ

マグニチュード8を超えるような巨大地震に対しては、すぐには精度の良い地震の規模を求めることができません。このため、大津波警報や津波警報の第一報では、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表することで、非常事態であることをお知らせし、津波からの迅速な避難を呼びかけます（図3）。

津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲う恐れがあります。ただちにできる限り高いところへ避難しましょう。

種類	発表される津波の高さ	
	数値で発表する場合	巨大地震の場合
大津波警報	10m超	巨大
	10m	
	5m	
津波警報	3m	高い
津波注意報	1m	(表記しない)

図3 大津波警報・津波警報・津波注意報と予想される津波の高さ